

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 コメリ

コード番号 8218 URL <http://www.komeri.bit.or.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 捧 雄一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 常務執行役員 (氏名) 板垣 隆義

TEL 025-371-4111

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日 配当支払開始予定日 平成21年12月7日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	146,065	2.8	10,243	0.2	9,872	△1.8	5,572	0.7
21年3月期第2四半期	142,135	—	10,220	—	10,048	—	5,533	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	108.95	—
21年3月期第2四半期	106.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	235,798	104,915	44.5	2,053.91
21年3月期	242,289	100,791	41.6	1,967.39

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 104,915百万円 21年3月期 100,791百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
22年3月期	—	17.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	288,000	3.8	16,200	10.1	15,200	10.8	6,600	2.8	129.12

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 ― 社 (社名) 除外 ― 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	54,409,168株	21年3月期	54,409,168株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	3,328,415株	21年3月期	3,177,909株
-----------	-------------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	51,145,758株	21年3月期第2四半期	51,825,276株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想につきましては、平成21年7月28日に公表しました内容から変更しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成22年3月期の個別業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	273,000	8.0	12,500	12.0	12,100	12.2	5,550	14.0	108	58

(注) 1. 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

2. 上記の業績予想につきましては、平成21年4月30日に公表しました内容から変更しております。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、5ページ【定性的情報・財務諸表等】

3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に景気の回復の兆しが見られるものの、企業の収益性の低下や雇用情勢の悪化、更に個人所得の落ち込み等により、先行きの不透明感は、未だ払拭されない状況が続いております。また、流通小売業界におきましても、個人消費は回復しておらず、経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、梅雨明けの遅れ等により、夏物季節商品の販売が低迷いたしました。主力商品である園芸・農業用品は好調に推移いたしました。また、低迷していた建築資材・建材の売上高も、消耗材を中心として、緩やかに回復してまいりました。更に、当社グループの自社開発商品も、お客様からのご支持をいただき、売上高を拡大することができました。その結果、当第2四半期連結累計期間における既存店の売上高は、前年同期比で100.5%に、来店客数は、前年同期比で104.0%となりました。

新規出店につきましては、栃木県矢板市にホームセンター（以下、「HC」）を1店舗、ハードアンドグリーン（以下、「HG」）を22店舗、合計で23店舗を出店いたしました。なお、「HC」を1店舗、「HG」を2店舗閉店いたしましたので、当第2四半期末における当社グループの店舗数は、パワー（以下、「PW」）12店舗、「HC」127店舗、「HG」830店舗、総計で969店舗となりました。

また、既存店につきましても、プロのお客様から一般のお客様までの幅広い層のご要望にお応えすべく、「PW」1店舗、「HC」2店舗、「HG」79店舗の全面改装を実施し、品揃えの充実を図ってまいりました。改装後の来店客数及び売上高も、順調に推移しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は、1,460億65百万円（前年同期比102.8%）に、営業利益は、102億43百万円（同100.2%）に、経常利益は、98億72百万円（同98.2%）に、四半期純利益は、55億72百万円（同100.7%）となりました。

（商品部門別の状況）

①金物・資材・建材

「金物・資材・建材」分野は、木材や塗料・補修用品等の消耗材を中心として、売上高は好調に推移いたしました。その結果、「金物・資材・建材」分野の売上高は、376億7百万円（前年同期比102.2%）となりました。

②園芸・農業用品

「園芸・農業用品」分野は、春先より肥料・農薬を中心として好調に推移し、売上高は前年実績を大きく上回ることができました。その結果、「園芸・農業用品」分野の売上高は、401億66百万円（同108.4%）となりました。

③家庭用品

「家庭用品」分野は、品揃えの充実や価格訴求効果により、客数が増加し、売上高は好調に推移いたしました。その結果、「家庭用品」分野の売上高は、350億19百万円（同107.1%）となりました。

④オフィス・レジャー用品

「オフィス・レジャー用品」分野は、家具・収納用品やオフィス用品の販売が伸び悩み、売上高は前年実績を下回りました。その結果、「オフィス・レジャー用品」分野の売上高は、220億12百万円（同99.9%）となりました。

⑤その他

「その他」分野の大部分を占める「灯油」に関しましては、来店客数及び販売数量は、前年実績を上回ることができましたが、単価の大幅な下落により、売上高は前年実績を大きく下回りました。その結果、「その他」分野の売上高は、25億35百万円（同59.6%）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産額は、前連結会計年度末より64億91百万円減少の2,357億98百万円となりました。負債は、有利子負債の返済等により前連結会計年度末より106億15百万円減少し、1,308億82百万円となりました。また、純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末より41億23百万円増加し、1,049億15百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、185億12百万円となりました。この主な内訳は、税金等調整前四半期純利益が97億78百万円、減価償却費が56億19百万円、たな卸資産の減少額が37億13百万円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、49億39百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、141億18百万円となりました。これは主に短期借入金の純減少額が93億10百万円、長期借入金の返済による支出が20億35百万円あったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

わが国経済は、当第3四半期以降も先行きの不透明感は、継続するものと予想されます。更に、今後はフォーマットの細分化が進むと共に、フォーマット間におけるカテゴリーの奪い合いなど、経営環境はより一層厳しくなるものと予想されます。

このような状況のもと、当社グループは、主力カテゴリーである「金物・資材・建材」や「園芸・農業用品」分野を、より一層強化することで差別化を図るとともに、プロのお客様のみならず、一般のお客様の幅広いニーズにお応えすべく、品揃えの充実及び販売体制の強化を図ってまいります。

新規出店につきましては、「HG」10店舗の追加出店を計画しております。これにより、通期で「HC」1店舗、「HG」40店舗、合計41店舗の出店を予定しております。また、既存店の全面改装につきましても、通期で約180店舗を予定しております。

この結果、平成21年7月28日に公表いたしました通期の連結業績予想を、営業収益は2,880億円に、営業利益は162億円に、経常利益は152億円に上方修正いたします。当期純利益につきましては、前期からの経営環境を踏まえ、慎重に検討した結果、予想を据え置くことといたしました。

なお、個別業績予想につきましては、平成21年4月30日に公表いたしました通期の業績予想を、営業収益は2,730億円に、営業利益は125億円に、経常利益は121億円に、当期純利益は55億50百万円に上方修正いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計処理基準に関する事項の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,763	8,302
受取手形及び売掛金	2,426	3,047
有価証券	5	4
商品及び製品	76,261	79,953
原材料及び貯蔵品	94	116
繰延税金資産	1,692	1,582
その他	4,893	5,307
貸倒引当金	△16	△23
流動資産合計	93,120	98,291
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	83,022	82,260
土地	24,253	24,193
リース資産（純額）	10,648	11,234
その他（純額）	5,299	6,597
有形固定資産合計	123,223	124,286
無形固定資産	5,227	5,261
投資その他の資産		
投資有価証券	429	426
繰延税金資産	3,780	3,665
敷金及び保証金	7,911	8,187
その他	2,147	2,217
貸倒引当金	△42	△45
投資その他の資産合計	14,226	14,451
固定資産合計	142,677	143,998
資産合計	235,798	242,289
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,982	40,158
短期借入金	47,870	57,180
1年内返済予定の長期借入金	3,619	4,036
リース債務	2,928	3,116
未払法人税等	4,445	2,526
賞与引当金	1,680	1,676
役員賞与引当金	31	52
店舗閉鎖損失引当金	46	92
ポイント引当金	487	466
その他	7,843	8,676
流動負債合計	108,933	117,981

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
固定負債		
長期借入金	6,397	8,015
リース債務	8,056	8,356
退職給付引当金	3,740	3,514
役員退職慰労引当金	997	992
その他	2,757	2,637
固定負債合計	21,948	23,516
負債合計	130,882	141,497
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,802	18,802
資本剰余金	25,260	25,260
利益剰余金	69,545	64,843
自己株式	△8,248	△7,923
株主資本合計	105,358	100,982
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	29	17
繰延ヘッジ損益	△472	△208
評価・換算差額等合計	△443	△190
純資産合計	104,915	100,791
負債純資産合計	235,798	242,289

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	137,246	141,094
売上原価	94,074	96,824
売上総利益	43,172	44,270
営業収入	4,888	4,971
営業総利益	48,061	49,241
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	28	21
給料及び手当	11,958	12,675
賞与引当金繰入額	1,771	1,676
役員賞与引当金繰入額	31	31
役員退職慰労引当金繰入額	27	26
その他	24,022	24,567
販売費及び一般管理費合計	37,840	38,998
営業利益	10,220	10,243
営業外収益		
受取利息	31	29
負ののれん償却額	129	—
為替差益	—	57
その他	140	109
営業外収益合計	300	196
営業外費用		
支払利息	322	534
為替差損	118	—
その他	32	33
営業外費用合計	472	567
経常利益	10,048	9,872
特別利益		
収用補償金	—	56
その他	7	1
特別利益合計	7	57
特別損失		
減損損失	361	35
災害による損失	8	3
固定資産処分損	65	54
店舗建設中止損失	—	38
その他	18	19
特別損失合計	453	151
税金等調整前四半期純利益	9,602	9,778
法人税、住民税及び事業税	4,310	4,340
法人税等調整額	△240	△134
法人税等合計	4,069	4,206
四半期純利益	5,533	5,572

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,602	9,778
減価償却費	4,035	5,619
減損損失	361	35
賞与引当金の増減額(△は減少)	46	4
退職給付引当金の増減額(△は減少)	—	225
支払利息	—	534
売上債権の増減額(△は増加)	1,408	620
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,696	3,713
前払費用の増減額(△は増加)	△555	△551
未収入金の増減額(△は増加)	983	892
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,554	△176
未払金の増減額(△は減少)	△434	△211
未払消費税等の増減額(△は減少)	—	648
その他	△148	263
小計	12,048	21,397
利息及び配当金の受取額	37	34
利息の支払額	△315	△515
災害損失の支払額	△6	△3
法人税等の支払額	△3,686	△2,400
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,077	18,512
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,594	△5,012
有形固定資産の売却による収入	13	1
無形固定資産の取得による支出	△299	△151
その他	78	223
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,802	△4,939
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,450	△9,310
長期借入金の返済による支出	△2,428	△2,035
リース債務の返済による支出	—	△1,576
自己株式の取得による支出	△387	△324
配当金の支払額	△881	△871
その他	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	753	△14,118
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△970	△545
現金及び現金同等物の期首残高	9,665	8,038
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	23	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,718	7,493

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第２四半期連結累計期間（自平成20年４月１日 至平成20年９月30日）及び当第２四半期連結累計期間（自平成21年４月１日 至平成21年９月30日）

当連結グループにおきましては、ホームセンター事業の売上高、営業利益及び資産の金額は、全セグメントの売上高合計、営業利益合計及び資産合計のいずれも90%超であるため、記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第２四半期連結累計期間（自平成20年４月１日 至平成20年９月30日）及び当第２四半期連結累計期間（自平成21年４月１日 至平成21年９月30日）

在外連結子会社がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第２四半期連結累計期間（自平成20年４月１日 至平成20年９月30日）及び当第２四半期連結累計期間（自平成21年４月１日 至平成21年９月30日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

商品別売上状況

(単位：百万円、%)

事業部門別	前第２四半期 連結累計期間 (自 平成20年４月１日 至 平成20年９月30日)		当第２四半期 連結累計期間 (自 平成21年４月１日 至 平成21年９月30日)		前 年 同期比	(参考) 前期 (平成21年3月期)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
金物・資材・建材	36,811	25.9	37,607	25.7	102.2	75,365	27.1
園芸・農業用品	37,066	26.1	40,166	27.5	108.4	56,933	20.5
家庭用品	32,701	23.0	35,019	24.0	107.1	66,607	24.0
オフィス・レジャー用品	22,031	15.5	22,012	15.1	99.9	42,718	15.4
その他	4,250	3.0	2,535	1.7	59.6	17,185	6.2
ホームセンター事業計	132,862	93.5	137,340	94.0	103.4	258,810	93.2
その他の事業	4,384	3.1	3,753	2.6	85.6	9,014	3.3
売上高合計	137,246	96.6	141,094	96.6	102.8	267,824	96.5
営業収入	4,888	3.4	4,971	3.4	101.7	9,732	3.5
合 計	142,135	100.0	146,065	100.0	102.8	277,557	100.0

(注) 1. 商品別の各構成内容は次のとおりであります。

金物・資材・建材 (建築金物、資材・建具、工具、ペイント・内装、作業衣料等)

園芸・農業用品 (園芸・農具、植物等)

家庭用品 (日用品・家庭用品、電気製品、インテリア、服飾雑貨等)

オフィス・レジャー用品 (オフィス用品、家具収納、スポーツ・レジャー、文具・玩具、ペット、カー用品等)

その他 (燃料等)

2. 前第２四半期連結累計期間からホームセンター事業の商品区分を一部変更したため、前年同期比較にあたっては、前第１四半期連結累計期間分を変更後の区分に組替えて表示しております。